

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
			226,673,555	165,207,805					
1	社会システム維持のための衛生確保事業	猫、犬やカラスなどの鳥獣によってゴミ袋が食い荒らされることで、本来密閉され廃棄されるべき使用済マスクなどが散乱させられることで高まる感染リスクの回避を目的とする。 新型コロナウイルス感染症の予防対策。 カラスネットでゴミ袋を包むことで、鳥獣の被害を抑える。	194,700	194,700	R4.8.26	R4.8.31	【実施計画上の成果目標】 町内63自治会の内、希望する自治会に配布 【実績】 町内4自治会(R2.6.24～R2.10.19)のカラスネットを購入する事業と併せて、町内30自治会)のゴミステーションにカラス等の鳥対策のネットを配布。	動物によるゴミの散乱が原因となった住民、収集業者等へのクラスターは発生しておらず、住民が安全にゴミ出しを行う事が出来た。	総務課
2	原油価格高騰対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の減少や燃料費高騰等の影響を受けている公共交通事業者(町民バス運行事業者)を守るため。燃料経費等の負担を軽減することを目的とする。 事業者を支援することで地域公共交通事業の持続を目的とする。	335,000	335,000	R5.2.15	R5.2.27	【実施計画上の成果目標】 燃料費高騰等による路線廃止や減便が生じることなく年間運行予定距離の運行を実施。 【実績】 各運行事業者が年間予定距離を運行できた。 岡林ハイヤー(年間18,510.8km) 黒岩観光(年間48,863.8km)	事業者に経済的な支援を行うことで、住民の足である町民バスの運行に支障を及ぼすこと無く公共交通網の維持を行うことができた。	総務課
3	原油価格高騰対策事業(廃止路線バス運行事業者分)	新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の減少や燃料費高騰等の影響を受けている公共交通事業者(廃止路線バス運行事業者)を守るため。燃料経費等の負担を軽減することを目的とする。 事業者を支援することで地域公共交通事業の持続を目的とする。	40,000	40,000	R5.2.15	R5.2.27	【実施計画上の成果目標】 燃料費高騰等による路線廃止や減便が生じることなく年間運行予定距離の運行を実施。 【実績】 年間運行予定距離を運行できた (年間10,187.1km)	事業者に経済的な支援を行うことで、住民の足である廃止路線バスの運行に支障を及ぼすこと無く公共交通網の維持を行うことができた。	総務課
4	原油価格高騰対策事業(広域路線バス運行事業者分)	新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の減少や燃料費高騰等の影響を受けている公共交通事業者(広域路線バス運行事業者)を守るため。燃料経費等の負担を軽減することを目的とする。 事業者を支援することで地域公共交通事業の持続を目的とする。	162,000	162,000	R5.2.15	R5.2.27	【実施計画上の成果目標】 燃料費高騰等による路線廃止や減便が生じることなく年間運行予定距離の運行を実施。 【実績】 年間運行予定距離を運行できた (年間276,788.8km)	事業者に経済的な支援を行うことで、住民の足である広域路線バスの運行に支障を及ぼすこと無く公共交通網の維持を行うことができた。	総務課
5	本庁舎衛生確保事業	公共施設での感染リスク対策として、夜間等でも安全に室内換気を行うために役場本庁舎に網戸を設置。	492,525	492,525	R4.7.1	R5.3.10	【実施計画上の成果目標】 本庁舎でのクラスター発生0件 【実績】 本庁舎でのクラスター発生0件 室内換気を行うために、網戸のない窓に取付レール等を含む網戸32枚を設置	職員だけでなく、外部人材を招いた会議などでも室内換気を行い、安全に会議を行うことが出来た。	総務課
6	行政事務のデジタル化推進事業	現在紙ベースで作成している出退勤の打刻や、押印によって運用している休暇や時間外勤務等について、システムを導入して行政組織のデジタル化をすすめるとともに、職員同士の接触の機会の軽減を図り、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ。	6,262,080	6,262,080	R4.9.9	R5.3.31	【実施計画上の成果目標】 時間外勤務等の100%電子管理を目指す 【実績】 インターネット環境のない職場以外の職員の100%が時間外勤務等の電子化を達成	これまで紙ベースであった休暇届や時間外勤務申出書が電子化され、紙決裁の削減により職員同士の接触の機会の軽減が図られ、感染症予防ができた。	総務課
7	感染の有無に関する検査事業	出勤後、発熱等具合が悪い職員が出た場合に、抗原検査を実施するとともに、接触者についても抗原検査を積極的に実施することで、職場内の感染拡大を防止する。また、消防団行事等の実施前に高原検査を実施し感染拡大を防止する。	210,292	210,292	R4.7.15	R4.11.7	【実施計画上の成果目標】 町職員内でのクラスター発生0件 【実績】 年間検査数142件	検査を行うことで感染拡大を防止しつつ業務を継続することが出来た。	総務課
9	越知町営業時間短縮要請協力金	R4.2月から3月のまん延防止等重点措置に基づく営業時間の短縮要請が行われたことに伴い、時短要請の対象となる施設を町内で運営し、時短要請に応じた事業者に対して、越知町営業時間短縮要請協力金を支給する。	3,220,000	3,220,000	R4.4.1	R4.6.15	【実施計画上の成果目標】 まん延防止期間に営業時間短縮要請に協力した事業者全て(14業者)に協力金を給付 【実績】14業者全てに協力金を給付	まん延防止等重点措置に基づく営業時間の短縮要請に伴い、時短要請に応じた事業者に対して支援が行えた	産業課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
10	あんしん会食推進の店追加応援金	R4.2.28までに高知県が実施する「高知家あんしん会食推進の店認証制度」の認証を受けている町内の飲食店に対し、県の追加応援金に町独自で上乗せし、新型コロナウイルス感染拡大防止に積極的に取り組む飲食店を応援するもの	550,000	550,000	R4.4.1	R4.6.6	【実施計画上の成果目標】 あんしん会食の認証制度を受けている飲食店全店(11店舗)に給付 【実績】11店舗全てに追加協力金を給付	コロナ対策に取組み「高知家あんしん会食推進の店認証制度」の認証を受けた町内の飲食店を応援することができた	産業課
11	あんしん会食推進の店応援金	R4.3.1以降に高知県が実施する「高知家あんしん会食推進の店認証制度」の認証を受けた町内の飲食店に対し、県の応援金に町独自で上乗せし、新型コロナウイルス感染拡大防止に積極的に取り組む飲食店を応援するもの	50,000	50,000	R4.4.1	R4.4.15	【実施計画上の成果目標】 あんしん会食の認証制度を受けている飲食店全店(3店舗)に給付 【実績】1店舗に協力金を給付	コロナ対策に取組み「高知家あんしん会食推進の店認証制度」の認証を受けた町内の飲食店を応援することができた	産業課
12	新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金	R4.1月以降に全国的に蔓延したコロナ感染拡大により、直接的、間接的な影響を受けた事業者であり、R4.1月～R4.3月のうち、1ヶ月の売上高がH31年又はR2年又はR3年の同期比で20%以上30%未満の範囲で減少した事業者に対して給付を行う	1,272,167	1,272,167	R4.4.1	R4.6.15	【実施計画上の成果目標】 コロナ感染拡大の影響を受け、売上高の減少率が給付条件に該当する事業者に給付 【実績】4事業者に給付金を給付	令和4年1月以降の全国的なまん延防止等重点措置の適用及び県内の感染症急拡大に伴い、事業活動に大きな影響を受けている町内の事業者に対して、支援が行えた	産業課
13	越知町地域振興券事業(物価高騰分)	コロナ禍において物価高騰の影響による町民への家計支援、及び新型コロナウイルス感染症等の影響による事業者の経営支援のため、町内の登録した取扱店で利用できる地域振興券を全町民に配布する。	23,369,958	23,369,958	R4.7.20	R5.3.15	【実施計画上の成果目標】 全世帯(2,673世帯)に2万円分及び子供等1人当たり6万円分の地域振興券を配布 【実績】死亡・長期不在等を除く2,640世帯に配布 52,800千円 子ども・妊婦 30,870千円(No43、55と併せて)	物価高騰の中、地域経済の活性化と、町民の生活支援、子育て世帯への応援をすることが出来た	産業課
14	新型コロナウイルス検査助成事業	新型コロナウイルス感染症の流行時に検査費用の一部を助成し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る	864,000	864,000	R4.4.1	R5.2.27	【実施計画上の成果目標】 検査実施人数300人 【実績】 検査実施人数56人	検査費用の助成により、感染の可能性のある者の検査が推進され、新型コロナウイルス陽性者を捕捉することにより感染症の拡大防止に寄与した	保健福祉課
16	総合検診等感染防止対策事業	総合健診、女性のがん検診時の感染防止対策	44,180	44,180	R4.8.25	R4.12.26	【実施計画上の成果目標】 検診でのクラスター発生0件 【実績】 検診でのクラスター発生0件	総合健診、女性のがん検診時の感染防止対策を徹底することで、クラスターの発生を防ぎ健診をする側も受ける側も安心して実施することができた。	保健福祉課
17	保健福祉センター感染防止対策事業	保健福祉センターの感染防止対策	48,925	48,925	R4.8.25	R5.3.15	【実施計画上の成果目標】 保健福祉センターでのクラスター発生0件 【実績】 保健福祉センターでのクラスター発生0件	保健福祉センターの感染防止対策を徹底することで、クラスターの発生を防ぎ職員も来庁者も安心して業務を行うことができた。	保健福祉課
18	あったかふれあいセンター感染防止対策事業	あったかふれあいセンターの感染防止対策	256,300	256,300	R4.8.12	R4.9.15	【実施計画上の成果目標】 不特定多数の来場者の感染防止に努めるため、空気清浄機を購入する。 空気清浄機 5台 【実績】 空気清浄機 5台	あったかふれあいセンターの感染対策を徹底することで、利用者の感染を未然に防ぎ利用者及びスタッフの安全に寄与した。	保健福祉課
19	女川児童公園トイレ洋式化事業	新型コロナウイルスの感染リスクの高いトイレ使用時において、洗浄水を流す際に発生する飛沫やエアロゾルによる感染を防止するため、トイレを改修することで衛生環境の改善を図る。	2,754,400	2,754,400	R4.12.6	R5.3.20	【実施計画上の成果目標】 感染症拡大防止のため、和式トイレ3基を蓋付き洋式トイレに改修し、手洗い水栓2個を自動水栓化、トイレブース3個を交換する。 【実績】 和式トイレ3基を洋式トイレに改修し、手洗い水栓2基を自動水栓化、トイレブース3個を交換した。	改修工事を行ったことでトイレを利用する児童やその保護者等においてもコロナ感染症拡大期間中にも安心して利用することができた。	環境水道課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費(円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
20	ふるさとを遠くで見守る応援事業	コロナの影響によりアルバイトに行けなくなり、さらなる厳しい生活を余儀なくされた奨学金を利用している学生へ、町内業者の品物を贈呈することにより、学生の生活負担の軽減、そして最終的にはふるさと納税を通じての関係人口の増加につなげる。したがって、町内業者の選定はふるさと納税返礼品の取扱業者に限り、コロナの影響を受けた業者の売上にもつなげる	1,376,219	1,376,219	R4.4.1	R4.12.20	【実施計画上の成果目標】 昨年度実績数(47人)以上に対して支援を行う。 【実績】 46名から申し込みがあったが、最終的に43名に送付した。 事業者:1,015,354円 運送会社:360,865円	新型コロナウイルスにより、飲食店などでアルバイトができず、厳しい生活を送る学生に対して、生活費の負担軽減となった。 また、生活費の負担軽減となる学生だけでなく、保護者や事業者にも好評であった。	企画課
21	博覧会推進事業	NHKで放送される「らんまん」を契機に、多くの観光客が訪れることが予想されるため、新型コロナウイルス感染症対策のための取り組みを図る。	33,662,904	10,887,904	R4.8.8	R5.2.28	【実施計画上の成果目標】 ・スノーピークかわの駅おちレジ通過者数 R3年度末20,469人 → R5年度末24,700人 ・横倉山トレッキング参加者数 R3年度末14人 → R5年度末140人 ・おち駅店頭販売額 R3年度末 5,600万円 → R5年度末6,400万円 【実績】 ・スノーピークかわの駅おちレジ通過者数 R5年度2月末 18,034人 ・横倉山トレッキング参加者数 R5年度2月末 488人 ・おち駅店頭販売額 R5年度2月末 5,300万円	横倉山に清潔なトイレを整備したことや案内板を整備したことで、トレッキングツアーに参加した人達や個人的に登山を楽しむ方には、好評である。 また、トレッキングツアー参加者も予想以上に増え、自然の森博物館の入館者増にもつながっている。 観光協会で発行した植物マップも非常に好評であり、現在も増刷をしている。 当初2,000部→現在3,500部 横倉山に設置した案内看板や各駐車場に設置したトイレ付近にソーシャルディスタンス注意喚起の掲示を行うことで、コロナ感染症対策ができた。	企画課
22	観光地における密を避けるための来客者誘導事業	映画「竜とそばかすの姫」の舞台のモデルとなった浅尾沈下橋へ多くの観光客が訪れるようになったため、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来客者が密にならないように交通誘導警備員を配置する	2,524,824	2,524,824	R4.4.21	R4.10.31	【実施計画上の成果目標】 警備員4名配置(8:30~17:30) 【実績】警備員配備 2,524,824円	警備員を配置することで沈下橋に訪れる来客者をコントロールすることができ、コロナ感染症対策ができた。 来客者数:GW10日2,868人、お盆4日2,040人、SW3日1,050人、10月連休3日930人 合計6,888人	企画課
24	公共的空間安全・安心確保事業	新型コロナウイルス感染症検査キットで職員の感染の陰性を確認することで保育士の確保ができ、保育園を休園することなく、安定した運営を行う。また、感染症を理由に行事を中止するのではなく、行事を実施するときに職員や園児に検査を行い、感染の有無を確認することで、安心して行事を行うために、検査キットを購入する。加えて、感染を拡大させないよう、職員のマスクや消毒などの衛生用品を購入する。	553,190	553,190	R4.7.19	R4.10.24	【実施計画上の成果目標】 休園 0回 【実績】 休園 0回 衛生用品購入(検査キット340個・マスク870枚)553,190円	検査キット等の衛生用品を購入し備えることで、感染が判明した時には検査キットを活用することができ、感染症対策が的確に実施できた。	教育委員会
25	給食費・保育料軽減事業	新型コロナウイルス感染症に起因して、自宅待機となった期間の給食費・保育料を軽減することにより、経済的負担の支援を行う	474,680	474,680	R4.4.1	R5.3.31	【実施計画上の成果目標】 補助児童数 370人 【実績】 学校給食費(128名)165,560円・保育園給食費(163名)128,970円・保育料(57名)180,150円	給食費及び保育料を補助することで、保護者の経済的負担が軽減された。	教育委員会
26	給食賄材料費における物価高騰対応事業	新型コロナウイルス感染症による経済的な影響等が引き続き懸念される状況下において、給食賄材料費の物価高騰による保護者負担を軽減しつつ、給食献立の質をさげることなく給食を提供する。	669,044	669,044	R4.4.1	R5.3.31	【実施計画上の成果目標】 補助児童数 472人 【実績】 補助児童数 466人 保育園賄材料費130,142円 学校給食賄材料費538,902円	給食賄材料の物価高騰を保護者負担にすることなく、給食献立の質を下げずに給食が提供できた。	教育委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
27	新型コロナウイルス感染症検査キット購入事業(教育委員会部局)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校や教育委員会事務局で発熱者や濃厚接触者等が出た場合に抗原検査を行い、感染拡大を防止する。 ・学校行事や部活動の大会前後に抗原検査を行い、感染拡大を防止する。 ・職員が濃厚接触者となった場合は、2日目以降に2回抗原検査を行い陰性だった場合、待期間が解除可能となるため、教育委員会の関係職員についても必要に応じて抗原検査を実施し、職場におけるコロナ感染のための人手不足や業務支障の改善につなげる。 以上の理由により、抗原検査を実施するための検査キットを購入する。	406,736	406,736	R4.6.29	R5.2.8	【実施計画上の成果目標】 教職員の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検査キット(15箱)を購入する。 【実績】 事務局 抗原検査キット13,200円×4箱(10個入)=52,800円 抗原検査キット10,450円×2箱(10個入)=20,900円 抗原検査キット 8,316円×7個(10個入)=58,212円 小学校 抗原検査キット 4,620円×19個(5個入)=87,780円 中学校 抗原検査キット 1,320円×50個=66,000円 抗原検査キット 8,316円×9箱(10個入)=74,844円 抗原検査キット 4,620円×10箱(5個入)=46,200円	体調が悪い等、気になる症状がある教職員は積極的に検査をし、適切な対応ができたので、学校や職場での感染拡大防止につながった。	教育委員会
28	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナ感染症防止対策を講じながら、児童の学びの保障に必要な体制の強化支援を行う。	2,016,282	1,008,282	R4.6.21	R5.3.13	【実施計画上の成果目標】 小中学校でのクラスター発生0件 【実績】 小中学校でのクラスター発生0件 小学校 オートディスペンサー7,040円×17=119,680円 サーマルカメラ127,875円×2=255,750円 タブレット用ヘッドセット1,551円×190=294,690円 まなボード21,230円×9=191,070円 ボード用マーナーカー1,914円×24=45,936円 マグネットイレーザー198円×72=14,256円 イレーザースベア165円×126=20,790円 ビデオカメラ41,800円×1=41,800円 ワイドレンズカメラ15,851円×1=15,851円 映像キャプチャー8,382円×1=8,382円 アルコール消毒液15,164円×1=15,164円 足踏み式消毒スプレースタンド17,500円×4=70,000円 パーテーション2,200円×7=15,400円 多目的個別ブース14,278円×8=114,224円 吹奏楽用フェースシールド1,815円×11=19,965円 ビデオカメラ41,800円×1=41,800円 映像キャプチャー32,175円×1=32,175円 動画編集ソフト23,650円×1=23,650円 動画編集用パソコン306,713円×1=306,713円 二酸化炭素濃度測定器7,782円×12=93,390円 サーキュレーター9,680円×12=116,160円 消毒噴霧器7,480円×6=44,880円 アルコール消毒液6,798円×10=67,980円 モップ替え糸2,794円×9=25,146円 他 21,430円	アルコール消毒や衛生用品の整備、サーマルカメラ等を設置することにより、コロナ禍でも児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができた。授業や部活動で使用する衛生対策用品も有効的に活用し、授業等、学校生活に支障をきたすことなく、感染拡大防止につながった。(クラスター発生なし。) また、新型コロナに感染し、学校を欠席した生徒にも授業配信ができるような環境を整備し、学びの保障に役立った。	教育委員会
29	小中学校手洗い場自動水栓化事業	新型コロナ感染症対策として、小中学校の手洗い場(水道と手洗い用せっけん)を自動化し、共同使用や接触による感染を防ぐ。	4,875,827	4,875,827	R4.9.22	R5.2.24	【実施計画上の成果目標】 小中学校でのクラスター発生0件 【実績】 小中学校でのクラスター発生0件 小学校 自動水栓取替工事3,327,010円一式3,327,010円 手洗い用石けん液3,135円×30=94,050円 専用空ボトル786×36=28,314円 中学校 自動水栓取替工事1,369,990円一式1,369,990円 手洗い用石けん液3,135円×15=47,025円 専用空ボトル786円×12=9,438円	小中学校の手洗い場等を自動水栓化することにより、水道のハンドルやハンドソープボトルに直接触れずに手洗いができるようになり、コロナ禍でも、児童生徒や教職員が衛生的に過ごすことができた。	教育委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費(円)		事業始期	事業終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
30	修学旅行支援事業	新型コロナ感染症により修学旅行や国内英語研修がキャンセルとなった場合の費用を町が負担する。(キャンセル料100%)	1,325,592	1,325,592	R4.4.7	R5.3.6	【実施計画上の成果目標】 修学旅行及び国内英語研修が、新型コロナウイルス感染症により中止となった場合、キャンセル料(最大8,936,680円)を町が負担することで、参加者家庭の経済的負担が軽減される。 【実績】 小学校 修学旅行キャンセル料 89,100円 中学校 修学旅行キャンセル料 405,000円 中学校英語研修 英語研修キャンセル料 831,492円	新型コロナの感染拡大により、修学旅行先を変更したり、英語研修を中止したため、キャンセル料が必要となったが、町がそれを負担したことで参加者家庭の経済的負担が軽減され、家庭の支援につながった。	教育委員会
31	三密回避のための授業支援事業	学校での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、包丁殺菌庫や抗菌仕様 の体操マット等を導入するとともに、直流交流電源装置等の学習で使用 する実験器具の台数を増やし、密を避けて分散しながら授業を実施できる ようにすることで、感染拡大を防止しつつ、児童生徒の学びの機会を保障 できる体制を構築する。	996,810	996,810	R4.4.4	R5.1.6	【実施計画上の成果目標】 新型コロナ感染症防止対策を講じながら、児童生徒の学びの保障に 必要な体制を強化するため以下の物品を購入する。 机拡張器具 8セット 体操マット(抗菌・防臭仕様) 5枚 直流交流電源装置 8台 直流電流計 4台 直流電圧計 2台 筆 2台 電気包丁殺菌庫 1台 【実績】 (中学校) 机拡張器具14,960円×5セット=74,800円 体操マット76,450円×5枚=382,250円 直流交流電源装置16,940円×8台=135,520円 直流電流計16,500円×4台=66,000円 直流電圧計16,500円×2台=33,000円 筆120,120円×2台=240,240円 電気包丁殺菌庫65,000円×1台=65,000円	理科の実験や体育等、授業で使用 する備品を購入し台数を増やして 対応することで、授業中の三密回 避につながった。コロナ禍におけ る学校生活でも、児童生徒が安心 して授業を受けることができる環 境を整えることができ、感染拡大 防止に十分な効果があった。	教育委員会
32	公共的空間安全・安心確保事業(小学校分)	小学校南庭に遊具(ブランコと雲梯)を設置する。遊具を増やすことで密を避けながら体を動かし遊ぶことができ、児童の心身機能の維持、健やかな成長に寄与する。	3,146,000	1,573,000	R4.10.19	R5.3.28	【実施計画上の成果目標】 小学校でのクラスター発生0件 【実績】 小学校でのクラスター発生0件 小学校南庭遊具設置工事 3,146,000円	南庭に新規遊具を設置することで、 遊具の数が増え、児童が遊ぶ際に 密にならずに分散して遊ぶことが でき、感染拡大防止に役立った。	教育委員会
33	博覧会推進事業(博物館分)	NHKで放送される「らんまん」を契機に、多くの観光客が訪れることが予想されるため、新型コロナウイルス感染症対策のための取り組みを図る。また、横倉山や博物館の機能整備、展示内容の拡充等を行い横倉山のビジターセンターとしての機能を高めることにより、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復を図る。	53,792,185	18,041,185	R4.10.5	R5.2.27	【実施計画上の成果目標】 ・横倉山自然の森博物館 来館者数 R3年度末6,101人 → R5年度末15,000人 【実績】 ・横倉山自然の森博物館 来館者数 16,864人(R5.4.1～R6.3.31現在)	新型コロナウイルス感染対策を行い、また館としての機能整備や展示内容の拡充を行うことで、目標数値を上回る来館者が訪れた。	教育委員会
35	農業共済収入保険加入促進事業費補助金	新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている農業者が経営リスク軽減を図るため、収入保険制度を活用する場合に保険料を一部補助する。	344,000	344,000	R4.9.15	R5.7.5	【実施計画上の成果目標】 加入者(5戸)が負担する保険料(掛捨て部分)の1/2を補助(上限10万円) 【実績】農業者5名分の補助金を交付	自然災害等、予期せぬリスクに備えて経営リスクの軽減を図るため、収入保険への加入促進及び保険料の一部支援が行えた	産業課
36	農業用肥料等高騰緊急対策給付金	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で町内農業者にとって厳しい状況が長期化する中、肥料等の価格が高騰しており、今後も高値圏での推移が予想されるため、営農継続のための緊急的な支援をおこなう。	9,633,000	9,633,000	R4.9.15	R5.2.15	【実施計画上の成果目標】 令和4年度も農業を継続している町内農業者(90件)で、令和3年度度税申告において農業所得があり申告した肥料費、飼料費の15%(上限20万円)を給付 【実績】農業者92名に給付金を給付	肥料等の高騰により経営を圧迫している農業者に対して事業継続の支援が行えた	産業課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
37	本庁舎感染防止対策事業	庁舎における感染防止対策	499,009	483,000	R4.8.3	R5.3.6	【実施計画上の成果目標】 町職員内のでクラスター発生0件 【実績】 町職員内のでクラスター発生0件 アルコール消毒噴霧器16台、二酸化炭素濃度測定器15セット、非接触サニタリーボックス30台等を購入し、庁舎に設置。	不特定多数が接触する可能性がある施設の定期的な消毒及び非接触化を図ることで、庁舎内での感染拡大を防止することが出来た。	総務課
38	小学校感染防止対策事業	新型コロナ感染症の感染拡大を防止するため、小学校で必要な消毒剤等の衛生用品を購入する。	75,609	75,609	R4.11.10	R4.11.18	【実施計画上の成果目標】 新型コロナ感染症の感染拡大を防止するため、小学校で必要な消毒剤等の衛生用品を購入する。 携帯用嘔吐袋13個 嘔吐処理セット8個 石けん液4本 消毒剤7本 【実績】 (小学校) 携帯用嘔吐袋385円×13=5,005円 嘔吐処理セット1,721円×6=10,326円 石けん液4,251円×4=17,004円 アルコール消毒剤6,182円×7=43,274円	衛生用品を充実させることで、コロナ禍の学校生活でも、児童が衛生的に安心して学校生活を過ごすことができ、感染拡大防止にもつながった。	教育委員会
39	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナ感染症防止対策を講じながら、児童生徒の学びの保障に必要な体制の強化支援	392,051	196,051	R4.10.11	R4.10.19	【実施計画上の成果目標】 新型コロナ感染症防止対策を講じながら、児童の学びの保障に必要な体制の強化支援を行うため以下の物品を購入する。 ビデオカメラ 5台 ウェブカメラ 3台 映像キャプチャー3台 映像キャプチャー(2入力)2台 三脚 6台 マイク 3台 【実績】 ビデオカメラ41,800円×5=209,000円 ウェブカメラ12,749円×3=38,247円 映像キャプチャー8,382円×3=25,146円 映像キャプチャー(2入力)32,175円×2=64,350円 三脚3,102円×6=18,612円 マイク12,232円×3=36,696円	新型コロナに感染し、学校を欠席した児童生徒にも授業配信ができるような環境を整備し、自宅での待機期間中の児童生徒の学習支援を強化することができた。	教育委員会
40	教育支援体制整備事業費交付金	新型コロナウイルス感染症検査キットで職員の感染の陰性を確認することで保育士の確保ができ、保育園を休園することなく、安定した運営を行う。また、感染症を理由に行事を中止するのではなく、行事を実施するときにも職員や園児に検査を行い、感染の有無を確認することで、安心して行事を行うために、検査キットを購入する。加えて、感染を拡大させないよう、職員のマスクや消毒などの衛生用品を購入する。	113,404	56,404	R4.4.1	R5.3.31	【実施計画上の成果目標】 休園 0回 【実績】 休園 0回 衛生用品購入(除菌シート・使い捨て手袋・ペーパータオル・手洗い用石けん・検査キット・マスク・CO2モニター)113,404円	除菌シートや使い捨て手袋等の衛生用品を購入することで、感染症対策を的確に行うことができた。	教育委員会
41	介護事業者へ物価高騰に対する支援金	新型コロナウイルス感染症拡大の影響や原油価格や物価が高騰するなか、町指定、登録の社会福祉施設等がサービスの安定的な提供を継続できるよう、光熱費等高騰分の経費の一部を支援する。	250,000	250,000	R5.2.1	R5.2.27	【実施計画上の成果目標】 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている町指定、登録の社会福祉施設2事業者を支援する 【実績】社会福祉施設2施設に支援金の交付	燃料費等の高騰に苦慮する社会福祉施設に対し支援金を交付することにより、安定的なサービス提供及び施設利用者の福祉に寄与した	保健福祉課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費(円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
42	越知町地域振興券事業(重点交付金分)	コロナ禍において物価高騰の影響による町民への家計支援、及び新型コロナウイルス感染症等の影響による事業者の経営支援のため、町内の登録した取扱店で利用できる地域振興券を全町民に配布する。	33,016,000	33,016,000	R4.7.20	R5.3.15	【実施計画上の成果目標】 全世帯(2,673世帯)に2万円分及び子供等1人当たり6万円分の地域振興券を配布 【実績】死亡・長期不在等を除く2,640世帯に配布 52,800千円 子ども・妊婦 30,870千円(No13、55と併せて)	物価高騰の中、地域経済の活性化と、町民の生活支援、子育て世帯への応援をすることが出来た	産業課
43	運送事業者等燃料価格高騰対策支援金	新型コロナウイルス感染症及び燃料価格高騰による影響を受けている町内で自動車運送業等を営む中小企業に対し、支援金を交付し事業継続を支援	3,227,000	3,227,000	R5.1.10	R5.3.15	【実施計画上の成果目標】 町内で自動車運送業等を営む中小企業(5社)に対し、事業で使用した令和4年の燃料費の5%を交付する(上限100万円) 【実績】7事業所に交付	燃料価格の高騰により経営を圧迫している運送業等を営む事業者に対して、事業継続の支援が行えた	産業課
44	子ども・子育て支援交付金	放課後児童クラブでの感染症対策	111,171	38,171	R4.12.20	R5.3.6	【実施計画上の成果目標】 放課後児童クラブでのクラスター発生0件 【実績】 放課後児童クラブでのクラスター発生0件 子ども用マスク(2箱)660円 アルコール消毒液(20ℓ)(1箱)6,798円 ハンドソープ(1本)2,640円 除菌シート(350枚)5,940円 加湿空気清浄機(1台)46,200円 加湿器(1台)23,100円 消毒噴霧器(1台)7,480円 二酸化炭素濃度測定器・ACアダプター(1台)7,783円 サーキュレーター(1台)9,680円 ペーパータオル(4箱)560円	放課後児童クラブで、換気対策や消毒等感染対策を効果的に行うことができ、児童や指導員等が安心して、過ごすことができた。その結果、クラスターの発生も防ぐことができた。(クラスターの発生なし)	教育委員会
45	感染症対策用品購入事業(町民会館)	町民会館での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、CO2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、また狭い室内であるため、サーキュレーターを活用することにより、適切な換気を行えるよう、又衛生用品を購入し感染対策に努める。	285,741	280,000	R5.1.16	R5.3.30	【実施計画上の成果目標】 町民会館でのクラスター発生0件 【実績】 アルコール製剤 5箱 消毒噴霧器 5台 二酸化炭素濃度測定器 5台 サーキュレーター 4台 サニタリーボックス等 17台	CO2モニターを購入し、サーキュレーターにて効果的に換気を行うことができた。 また衛生用品にて感染対策を適切に行えた。	教育委員会
46	感染症対策用品購入事業(保育園)	保育園での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、CO2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、室内の適切な換気を行い、感染対策に努める。また、園児同士の密を防ぐため、部屋を分けて長時間保育が行えるようにテレビを購入する。	120,725	120,725	R5.1.19	R5.2.14	【実施計画上の成果目標】 休園 0回 【実績】 休園 0回 CO2モニター購入(10台)77,825円・テレビ購入(1台)42,900円	CO2モニターを購入することで、効果的に換気を行うことができた。また、テレビが1台増えることで、園児同士の密を防ぐことができた。	教育委員会
47	感染症対策用品購入事業(小学校)	小学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策用品購入。二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、CO2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、室内の適切な換気を行い、感染対策に努める。また、サーキュレーターにより、効率的に教室内の換気を行うとともに、消毒噴霧器で清掃し、衛生的な環境を保つ。また、感染対策のために学校での消毒や清掃が増えたことにより、ゴミが多量に発生するため、ゴミステーションを設置する。	411,345	411,345	R4.12.12	R5.3.6	【実施計画上の成果目標】 小学校でのクラスター発生0件 【実績】 小学校でのクラスター発生0件(小学校) 二酸化炭素濃度測定器7,782円×18=140,085円 サーキュレーター9,680円×20=193,600円 消毒噴霧器7,480円×6=44,880円 ゴミステーション32,780円×1=32,780円	CO2モニター等を購入し、サーキュレーターとともに効果的に換気を行うことができた。換気対策や消毒を徹底することで、コロナ禍における学校生活でも児童が安心して生活をすることができ、クラスターの発生防止にもつながった。(クラスターの発生なし)	教育委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
48	感染症対策用品購入事業(幼稚園)	幼稚園での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、Co2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、室内の適切な換気を行い、感染対策に努める。	23,348	12,348	R4.4.1	R5.3.31	【実施計画上の成果目標】 休園 0回 【実績】 休園 0回 CO2モニター購入(3台)23,348円	CO2モニターを購入することで、効果的に換気を行うことができた。	教育委員会
49	感染症対策用品購入事業(公民館)	公民館での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、Co2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、また狭い室内であるため、サーキュレーターを活用することにより、適切な換気を行えるよう、感染対策に努める。	786,863	786,863	R5.1.16	R5.3.16	【実施計画上の成果目標】 休館0回 【実績】 休館0回 アルコール製剤 6箱 消毒噴霧器 6台 二酸化炭素濃度測定器 6台 大型扇風機 10台	CO2モニターを購入し、大型扇風機にて効果的に換気を行うことができた。 また衛生用品にて感染症対策を適切に行えた。	教育委員会
50	感染症対策用品購入事業(図書館)	本の森図書館での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、Co2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、また狭い室内であるため、サーキュレーターを活用することにより、適切な換気を行えるよう、又衛生用品を購入し感染対策に努める。	71,511	71,511	R5.1.24	R5.3.6	【実施計画上の成果目標】 休館0回 【実績】 休館0回 消毒噴霧器 2台 二酸化炭素濃度測定器 2台 サーキュレーター 2台 サニタリーボックス、ダストボックス等 各1台	CO2モニターを購入し、サーキュレーターにて効果的に換気を行うことができた。 また衛生用品にて感染症対策を適切に行えた。	教育委員会
51	感染症対策用品購入事業(町民運動場)	町民運動場での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、Co2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、また狭い室内であるため、サーキュレーターを活用することにより、適切な換気を行えるよう、感染対策に努める。	284,543	284,543	R5.1.24	R5.3.16	【実施計画上の成果目標】 町民運動場でのクラスター発生0件 【実績】 町民運動場でのクラスター発生0件 消毒噴霧器 2台 二酸化炭素濃度測定器 1台 大型扇風機 4台	CO2モニターを購入し、大型扇風機にて効果的に換気を行うことができた。 また衛生用品にて感染症対策を適切に行えた。	教育委員会
52	感染症対策用品購入事業(共同調理場)	学校給食共同調理場での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、Co2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、また狭い室内であるため、サーキュレーターを活用することにより、適切な換気を行えるよう、感染対策に努める。	34,925	34,925	R5.1.27	R5.3.6	【実施計画上の成果目標】 学校給食停止0回 【実績】 学校給食停止0回 CO2モニター購入(2台)15,565円 サーキュレーター購入(2台)19,360円	CO2モニター・サーキュレーターを購入することで、効果的に換気を行うことができた。	教育委員会
53	感染症対策用品購入事業(博物館)	博物館での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、Co2モニターで二酸化炭素濃度を把握し、また狭い室内であるため、サーキュレーターを活用することにより、適切な換気を行えるよう、又衛生用品を購入し感染対策に努める。	260,678	260,678	R5.1.16	R5.3.16	【実施計画上の成果目標】 休館0回 【実績】 休館0回 アルコール製剤 1箱 消毒噴霧器 2台 二酸化炭素濃度測定器 8台 サーキュレーター 8台 サニタリーボックス 12台	CO2モニターを購入し、サーキュレーターにて効果的に換気を行うことができた。 また衛生用品にて感染症対策を適切に行えた。	教育委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度実施計画分)

No	事業名	事業の概要	総事業費 (円)		事業 始期	事業 終期	実績	効果・検証	担当課
				交付金 充当額					
54	感染症対策用品購入事業(集会所)	各地区集会所での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策に効果的な換気量である二酸化炭素濃度1,000ppm以下(学校衛生基準に1,500ppmに準じる)を保つために、Co2モニターで二酸化炭素濃度を把握する。また狭い室内であるため、サーキュレーターを活用することにより適切な換気を行い、感染対策に努める。	785,812	785,812	R5.1.27	R5.3.6	【実施計画上の成果目標】 集会所におけるクラスター発生0件 【実績】 集会所におけるクラスター発生0件 集会所にサーキュレーター45台、二酸化炭素濃度測定器45セットを設置	不特定多数が利用する集会所の換気を促すことで、安全に施設を利用することが出来た。	総務課
55	越知町地域振興券事業	コロナ禍において物価高騰の影響による町民への家計支援、及び新型コロナウイルス感染症等の影響による事業者の経営支援のため、町内の登録した取扱店で利用できる地域振興券を全町民に配布する。	30,000,000	30,000,000	R4.7.20	R5.3.15	【実施計画上の成果目標】 全世帯(2,673世帯)に2万円分及び子供等1人当たり6万円分の地域振興券を配布 【実績】死亡・長期不在等を除く2,640世帯に配布 52,800千円 子ども・妊婦 30,870千円(No13、No43と併せて)	物価高騰の中、地域経済の活性化と、町民の生活支援、子育て世帯への応援をすることが出来た	産業課